



にじ はし 虹のかけ橋

令和7年1月14日

第21号

文責 校長

卒業と進級に向けて

明けましておめでとうございます。

昨日で冬休みが終わり、20日ぶりに子どもたちの元気な姿と活気溢れる学校生活が戻ってきました。冬休み期間中、すべての子どもたちが無事に過ごし、大きな事故や問題もなく新年を迎えられたことを心からうれしく思います。

さて、本日の冬休み明け集会では、卒業と進級に向けたお話を子どもたちにしました。新しい学年に向けた残りの日数は、あと45日。6年生にとっては、さらに短くあと41日です。子どもたちが次のステージへ進む日もすぐそこまで迫っています。

卒業・進級に向けて、限られた期間ではありますが、子どもたちに特に大切にしてほしいことを2点伝えました。

1つ目は、これまで学んできたことの振り返りやまとめをしっかりと行うことです。学年の締めくくりとして、自分の学びを確かなものにしてほしいと願っています。

2つ目は、友達との人間関係をさらに深め、大切にすることです。そのためにも、普段から「あったか言葉」をたくさん使ってほしいとお願いしました。「ありがとう」「どうしたのお」「どうぞ～」「一緒にやろう」「大丈夫だよ」など、自分も相手も気持ちが温くなるような言葉を積極的に使うことがポイントです。こうした言葉の積み重ねが、「あったかな学級」づくりにつながり、それが卒業や進級を迎える土台となります。

残りわずかな期間ではありますが、職員一同、全力で子どもたちをサポートしてまいります。本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



いのちのはじまり～養護教諭から～

冬休み明け集会で、養護教諭の東海林先生から「いのちのはじまり」についてのお話がありました。このお話は、以前、病院内に掲示されていた小学生女子の自由研究をもとにした内容でした。

その自由研究は、「いのちのはじまりについて知ると、『赤ちゃんはすごい！』と思えてきます」という一文から始まります。東海林先生は、①「いのちの部屋」と「0.1mmの命のはじまり」、②「へその緒」と「いのちのつながり」、③「赤ちゃんは愛されて育つ」といった内容について、丁寧に語られました。子どもたちはその温かく穏やかな語り口調に引き込まれ、体育館全体には静寂が広がり、子どもたちの真剣な眼差しが印象的でした。

「赤ちゃんの心臓の鼓動は1分間に130回。お母さんのお腹の中で一生懸命に大きくなろうとしている」という言葉が特に心に残り、いのちの尊さを改めて実感する貴重な時間となりました。



創立150周年記念のご寄付について

校報「虹のかけ橋」第16号でお伝えした、創立150周年記念に係る「株式会社齊光板金工業」の齊藤様からのご寄付について、このたび屋外用時計と記念プレートの設置に活用させていただくこととなりました。

また、1月16日（木）の朝の時間に齊藤様をお招きし、感謝のセレモニーを執り行う予定です。この場を借りて、ご報告申し上げます。

人権教育に対して感謝状

このたび、秋田地方法務局長ならびに秋田県人権擁護委員連合会長より、本校に「令和6年度秋田県小学生人権標語コンテスト」の実施に関する感謝状を贈呈いただきました。人権擁護委員の方からは、日頃の本校の人権教育への取組が評価されたとのことのお言葉を頂戴しました。

今後も子どもたちの人権意識の向上に努めてまいります。



岩谷小の子どもたちの頑張り

☆剣道

令和7年由利本荘市岩城地区寒稽古納め剣道大会

5・6年生男子の部 準優勝 5年 佐****

☆柔道

第9回男鹿なまはげカップ男鹿市長杯争奪柔道錬成大会

小学生の部 第3位 小友唯心塾 6年 松**



クマに十分に注意を！

冬休み期間中、クマの足跡が目撃されたとの情報が寄せられました。冬休み明けの児童の安全確保のため、以下の点について保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

1. 屋外ではできるだけ一人で行動せず、複数人で行動すること。
2. クマを見かけた場合は、慌てず、背を向けずにその場からゆっくりと離れること。
※クマを刺激するような行動（大声を出す、近づく、石を投げるなど）は控えること。
3. 登下校時には、必ずクマ避け鈴を着用すること。

学校としては、引き続きクマ目撃情報の収集に努めるとともに、警察や自治体など関係機関との連携を図ってまいります。お子さまの安全のため、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校報「虹のかけ橋」は、個人情報に配慮しながら学校ホームページにも掲載しております。また、普段の学校のようなすや行事予定などの情報も、随時発信しております。右のQRコードから入っていただき、ご確認くださるようお願いいたします。



岩谷小HP